

より良いまちにするため

令和4年しもすわ未来議会 開催



未来を担う若者 から町政へ提言

10月31日（月）、「令和4年しもすわ未来議会」が開催されました。

「しもすわ未来議会」は、未来を担う中学生・高校生が、若者の視点から地域社会や将来のまちづくりについて主体的に考え、積極的に意見や提案を発信し、社会参加や参画協働の意識を高めることを目的に、平成21年度に始まり、延べ100人を超える代表議員が質問席に立ちました。

未来議会では、各校から選出された生徒が議員となり、通常の町議会と同様に議場に集まり、町に対し一般質問を行っています。

今までに「しもすわ未来議会」から提案され事業化されたものとして、「ニュージラランドへの中学生海外派遣」「しもすわガーデンプロジェクト」「こども未来バスの設置」「顔ハメパネルの設置」などがあります。

今年も、昨年同様、議員となる生徒のみ議場へ集まり、他の生徒は学校にてオンライン配信を視聴することで感染対策を行い、しもすわ未来議会を開催しました。

当日、カメラの向こうで多くの生徒が見守る中、7人の議員の皆さんは緊張した面持ちで議席に座り、午後1時15分に本会議が開会しました。

町からは宮坂町長をはじめとする理事者や全課長が出席し、森安夫町議会議長の進行により進められました。

開会にあたり宮坂町長から、「これからの下諏訪町が安心して快適に暮らすことのできる、賑わいのある町であり続けるために、原動力となるのは、まさに次代を担う皆さん方です。学校でご覧になっている生徒の皆さんも含め、この機会に町について見直し、まちづくりに対するご自身のお考えをお持ちいただききっかけにしたいだければ幸いです。」とあいさつがありました。



議員の皆さんは順番に質問席に着き、持ち時間10分間という限られた時間の中ではありましたが、自分たちが町で暮らす中で感じていることなどを基に、町がより良くなるよう質問や意見、提案を行いました。

一般質問終了後に、議員を代表して下諏訪中学校の野明芽衣議員から、「今回の議会に向け下諏訪町のことを調べてみて、知らなかったことや良いところをたくさん知ることができました。御田町商業会、みたまちおかみさん会、湖浄連など、住民の方々が中心となり、自分たちのまちをより良くするための活動を行っていることを知り、住民の方々の下諏訪町への思いや温かさを感じることもできました。また、実際に議場に入らせていただき、議会の様子や雰囲気を経験することもでき、とても貴重な体験をさせていただきました。本日の議会を含め、これまで学習を通じて学んだことを活かして、この下諏訪町への関心を高めて生活したいと思えます。」とあいさつがあり、本会議が閉会しました。



次のページに各議員の質問の要旨を掲載しています。

議席1 野明芽衣議員
(下諏訪中学校)

「若い人も楽しめる商店街の整備について」



野明議員 御田町商店街は、若い人の知名度が低いと思います。商店街の入口に旗を立てて目立つようにすると観光客や高校生の利用者が増えるのではないのでしょうか。

町長 御田町商店街では、景観に合わせたバリアフリーの歩道整備を行っており、のぼりや塔を置かず、子どもや高齢者の皆様方の通行にも配慮しています。町では大型観光看板の設置や観光誘客サイトでの情報発信に努めています。

野明議員 商店街には、ふらつと立ち寄れるような学生向けのお店がないので、食歩歩きができるお店や写真映えるお店を作ると若い利用客が増えるのではないのでしょうか。

町長 御田町商店街には、店内に入って素敵な雰囲気を感じ、くつろいでもらうというコンセプトのお店が多いです。若い世代のみならずSNSを活用して、情報発信にご協力いただくと大変嬉しいです。

議席2 松澤暖奈議員
(下諏訪社中学校)

「成人式の式典への参加年齢について」



松澤議員 成人式は若者が進んで集い、町への所属感を確かめ高める大切な場だと思います。全国の自治体では、成人式の式典の実施期間が異なり、出席する年齢を18歳に引き下げたりという動きも耳にしますが、町のお考えは。

町長 令和2年の成人式に参加された新成人の皆様など住民の皆様はアンケートを実施しました。アンケート結果を踏まえて結論を出す方向で、これまで進めてまいりました。

松澤議員 大学受験や就職活動で多忙な時期である18歳での実施案があるならば反対です。町の意見をお聞かせください。

町長 アンケートでも、ほぼ全ての皆さんが20歳での開催を希望されておりました。名称を「20歳を祝う会」とし、実施することを決定したところです。

議席3 大江真以子議員
(下諏訪向陽高校)

「下諏訪町の名物について」



大江議員 町の特産品を使用したランチ等を作り、売り出したいと思いますが町長はどう思われますか。

町長 地域の特産品を活かした料理を味わえるお店に住民や観光客の皆様がお越しいただく事で、地域の活性化にもつながると考えています。

大江議員 お店の場所は向陽高校付近の古民家を利用したいです。交通手段として、下諏訪駅にレンタサイクルを設置してほしいです。材料調達はボランティアの方に協力を依頼したいです。従業員は、向陽生の校外活動として設定することを考えています。

町長 レンタサイクルについては利用者ニーズを把握しながら、検討したいと思えます。事業として継続していくには、個人事業者や企業の協力が必須ですが、ボランティアや高校生との課外活動として設定するのでもいい視点ではないかと思っています。

議席4 利根川俊哉議員
(下諏訪向陽高校)

「下諏訪町の子育て支援について」



利根川議員 下諏訪町には、乳幼児とその保護者が集える場所が少ないと思います。そのような場所があれば、子育てにおける不安が減り、交流が広がるのではないのでしょうか。

町長 現在、下諏訪町には、子育て中の皆様など地域の皆様がふれあえる場所として、子育て支援センター「ぽけっと」を運営していますが、線路下の地域にも、同様の施設があればと考えており、検討を進めています。

利根川議員 1人親家庭への助成を行うことで、負担を減らし、安心して子育てをすることができると考えています。

町長 現状、1人親世帯への児童激励金という事業での支給やコロナ禍による商品券の給付も上乗せ給付を進めているところですが、国や県の動きにも注視しながら支援を行っていきたくと考えています。

議席5 太田瑠議員
(下諏訪中学校)

「湖や川の近くの環境改善について」



太田議員 下諏訪町は、ごみ拾いなどへのボランティアの参加人数が少なく、町民の意識があまり高くないと感じていますが、町長はどのように感じていますか。

町長 当町には、55の団体と個人の方で構成されている諏訪湖浄化推進連絡協議会(以下、湖浄連)という組織があり、40年以上諏訪湖美化に取り組んでいます。こうした活動を踏まえると住民の環境に対する意識は高いと感じています。

太田議員 町民意識の向上のため、啓発ポスターの作成、SNSやスマホアプリの活用を行っているのでしょうか。

町長 毎年、湖浄連の皆様がポスターの作成を行っており、「感謝を表すポスター」という視点は、改めて湖浄連の皆様とも相談したい。アプリの活用は、自治体で導入となると経費が発生するため、どう活用されるのかなど、今後確認していきたいと考えています。

※掲載している写真は、議会終了後にマスクを外して撮影したものです。議会中はマスク着用など感染対策を徹底して行いました。

議席6 五味愛彩議員
(下諏訪向陽高校)



「学校でのリモート授業について」

五味議員 小中高で1人1台タブレットが導入されました。向陽高校では活用するのに性能の問題でリモート授業が難しい部分がありますが、町内の小中学校の状況は。
教育長 1人1台端末は、日常的に使用し、休校、学級閉鎖時には、リモート授業を行っています。通信環境においては、回線の高速化を実施し、リモート授業による大きな障害はありません。
五味議員 高校でのリモート授業の環境改善のために予算計上していただけないか。
町長 向陽高校の設置者である長野県が予算化を行わなければならぬという事をご理解ください。ですが、切実な思いはしっかりと受け止めをさせて頂きました。学校の先生方にもこの機会を通じてお気持ちが届いたのではないかと思います。

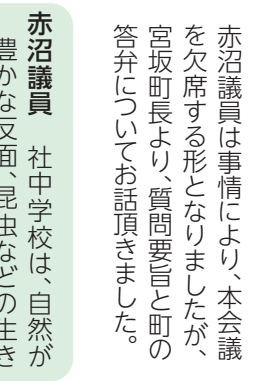
議席7 長崎未帆議員
(下諏訪中学校)



「環境整備の推進による町民と観光客の増加について」

長崎議員 道路の草刈りを定期的に行い安全な環境のまちづくりを行うことは、町民の満足度向上に繋がると考えます。通路など道路の草刈りを定期的に実施していただけないか。
町長 現在、全ての町道で定期的な草刈りは行っています。全ての路線で行うことは困難ですが、児童生徒の皆様が通学する上で危険と思われるような箇所については、草刈りに限らず随時対策をしていきたいと思います。
長崎議員 屋外でひと休みできる場所を増設するために、みずべ公園やジョギングロードにベンチを設置するのはどうでしょうか。
町長 休憩ができるベンチの増設は大変大事な視点だと思えます。間伐材の利活用に合わせてデザインは町内企業等との連携を含めて整備を進めたいと思います。

議席8 赤沼良樹議員
(下諏訪中学校)



「学校施設の環境整備計画と推進状況について」

赤沼議員 中学校は、自然が豊かな反面、昆虫などの生き物が窓から侵入したり、巣くったりしており、学習に集中できないので、各教室への網戸の設置をお願いしたい。また、学校施設や学習環境の整備に関する計画とその進捗状況についてお聞きしたい。
町長 今年度、新型コロナウイルスに関わる国からの交付金を活用して、各校に補助金を交付しており、この補助金を利用して設置を行うよう進めています。交付した補助金だけでは全ての教室への設置は難しいことから、来年度も国からの交付金が得られるか、その情報に注視し検討していきたいと考えています。
また、当町では、個別施設計画という施設ごとの整備計画を策定し、整備を進めています。今年、中学校で行っております。照明設備のLED化もこうした計画によって実施しています。

本会議を見守る生徒たち
オンライン配信により町内中学校の3年生、下諏訪向陽高校生徒自治会の皆さんが、各校の代表生徒が質問する様子を傍聴しました。
議員だけではなく、傍聴した生徒それぞれが下諏訪町の将来のことを考え、学習する場となりました。



下諏訪中学校



下諏訪中学校



若い皆さんが町を支えてくれることを確信できた皆さんの下諏訪町に対する思いと、ご自身なりのしっかりとした考えを持って頂いていることがわかり、とても心強く思いました。皆さんのような若い方々は、今後もしっかりと町を支えていただけたと確信することができた未来議会であったと思っています。今後も任んでいる方にとって、住み続けたい方にとっても魅力的なふるさととして、そして住んでみたい方にとっても下諏訪町として、まちづくりの推進をしていきたいと思います。今後とも、皆さんのご力添えをよろしく願います。
町長の講評より